

総務省が取り組む「ビッグデータ時代に日本を支える次世代ICTリーダー育成」 高度ICT研修(実践的データ分析コース) 大垣会場

総務省では、ビッグデータやクラウドサービスに代表される、ICTを高度に利活用して戦略を立案・実施できる「高度ICT人材」に着目し、同人材の育成を目的とした「高度ICT利活用人材育成プログラム(クラウド及びビッグデータ編)」を開発してきました。昨年度、企業のユーザ部門、経営層、情報システム部門の方々を対象とし、東京をはじめ全国5ヶ所で開催した検証実験(研修コースのテストラン)では、幅広い立場の受講者から高い評価を得ることができました。※詳細は裏面をご参照ください

一方、地域における高度ICT人材育成の取組は、人材の面から地域経済の競争力の強化に有効と考えられ、地域での同人材育成の継続的な取組が重要です。

そこで、本年度は、企業のみならず高等教育機関や地域団体に対象を広げ、全国11地域で、「実践的データ分析コース(ビッグデータ編コース)」を実施して、教材の有効性等を検証することとなりました。

また、実践的データ分析コース受講後の追加研修として、講師や教員の方を対象に「インストラクター育成支援プログラム」を同日開催いたします。プログラムでは、指導要領を利用して、研修コースの指導ポイントや運営上の留意点に関する説明を実施します(実践的データ分析コース受講後90分程度)。

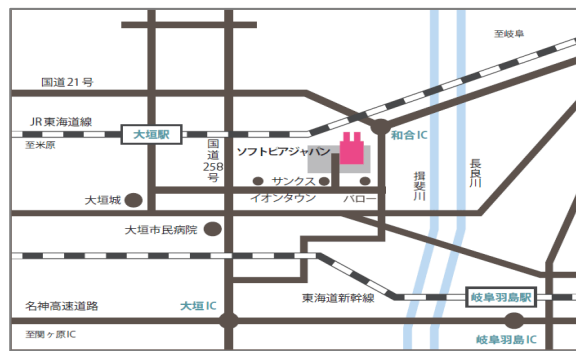
開催日程	2015年1月29(木)～30日(金) 9:30～17:30(両日) ※申込締め切りは、平成27年1月7日(水)になります
会場	ソフトピアジャパンセンタービル 11階研修室 岐阜県大垣市加賀野4丁目1番地7
定員	20名(定員を超える場合は、抽選とさせていただきますのでご了承ください)
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> 経営層やユーザ部門、情シス部門のマネージャなど、ビッグデータをビジネスに活かしたいすべての方 ビッグデータに関する講座開催をご検討の講師、教員の方(インストラクター育成支援プログラム)
目標	<ul style="list-style-type: none"> 経営層との折衝や現場の旗振り(実際にデータ分析の効果を知らしめる)など、組織の中でビッグデータ利活用を推進するために必要な知識・スキルを習得する 研修コースの指導ポイントや運営上の留意点を理解する(インストラクター育成支援プログラム)
参加費	無料
事業関係者	主催: 総務省(事業請負者 日本サード・パーティ株式会社) 協力: 総務省 東海総合通信局
事業紹介ページ	http://www.jtp.co.jp/service/ict/index.html
お申込ページ	http://www.jtp.co.jp/service/ict/course/index.html
お申込ページ(講師向け)	http://www.jtp.co.jp/service/ict/instructor/index.html
お問い合わせ先	日本サード・パーティ株式会社 担当: 古川、津田、大和田 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー14階 TEL.03-6408-2488(代表) FAX.03-6859-4797

日程	アジェンダ	学習項目
1 日目	1. ビッグデータ利活用入門	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータの特徴 ビッグデータ利活用の効果 ビッグデータを支える技術 法的に気を付けること
	2. ビッグデータ利活用の導入計画	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータ利活用の流れ データの棚卸し ビッグデータ利活用での体制と役割
	3. ビッグデータ利活用計画の策定と評価	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータ利活用におけるビジネス展開 ビジネス展開(運用)でのポイント 全社へ普及するための仕掛け
	4. データ分析手法とツール	<ul style="list-style-type: none"> 目的にあったデータ分析を選ぶには 比較して判断する分析手法 仮説検証を使った分析手法 データ分析とICT
	5. データ管理とセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> データ管理 ビッグデータとセキュリティ
	6. 講師向け説明会(希望者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 研修コースの指導ポイントや運営上の留意点
2 日目	7. データ分析結果の図解手法	<ul style="list-style-type: none"> 数値データの可視化手法 分析結果の図解による効果
	8. 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ビッグデータの導入と運用(ケーススタディ) データ分析と意思決定(BIツール実習)
	9. 講師向け説明会(希望者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 研修コースの指導ポイントや運営上の留意点

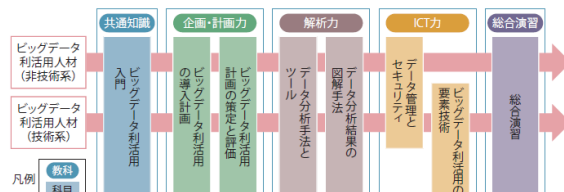
※アジェンダは、若干変更する場合がございますのでご了承ください

【アクセスマップ】

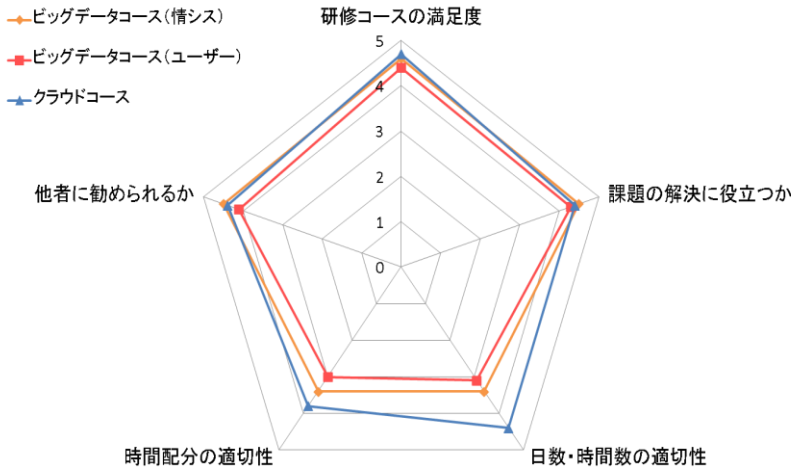
JR大垣駅から車で5分、バスで10分(大垣駅南口3番乗車)



■役割別カリキュラム全体構成イメージ(ビッグデータ編)



昨年度 受講者アンケートの結果



- ◆ メーカー、サービス、医療、教育、金融、運輸、小売など、幅広い業種の方が受講され、産業分野問わず、ビッグデータに関する高いニーズが確認できました
- ◆ 研修では、組織内への定着・展開方法など、大企業、中小企業に共通するポイントを理解していきます
- ◆ 受講生の86%が、「自社でビッグデータ利活用を検討している」「一部の部門で開始している」と、多くの企業がビッグデータ利活用に関心があることが確認できました
- ◆ 受講生の62%が、経営者やマネージャーとして活躍されている方でした

昨年度 受講者の声

昨年度、研修コースを受講された方から頂いたコメントをいくつかご紹介します。今年度も、ビッグデータに関する教材によって検証コースを開催し、検証を行います。皆様のご参加をお待ちしております。



○旅行代理店 / 経営企画

会社の売上げを上げたい。BIツールを導入しているが、何をどう使っていけばいいかが分からなかった。こう使えばいいという発見があった。会社でデータの相関をみたり、数値データをつかって経営にアピールしていきたい。



○自治体 / 学校・教育・研究機関

分量も進みも早くて大変でした。帰ってから自分で調べたいと思った。データを活用していこうというミッションを組織で与えられているがどうしたらよいか悩んでいる。小さな分析でもやってみて、みせると興味がわくし、意見も出る。スモールスタートでもはじめて、周りを巻き込んではじめていけたらという、気付きをもたらった。



○大手製造メーカー / 経営企画・事業(製品・サービス)開発部門

データの企画段階のプロセスがわかったことが収穫でした。分析データからどう読み取るかを訓練していきたい。会社に戻って、小さな事例からはじめて、ゆくゆくは全社を巻き込んでやっていきたい。



○出版会社 / 情報システム部門

独学で学んできたことが体系立てられて学べた。ワークショップが一番よかった。あらゆる業種で経験を積まれた方から意見をいただいた。自部門から始めたい。



○IT企業 / マーケティング部門

組織のあり方も大変参考になった。グループワークのケース題材に、WEBショップが含まれていて、社でも検討課題だったので参考になった。自社で、こういうことを勉強してきたと、小さい勉強会をしたらいいと思った。